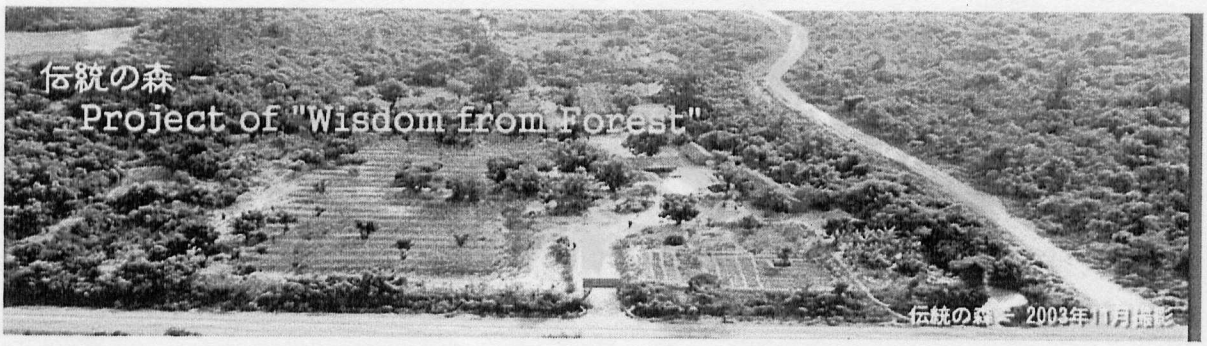
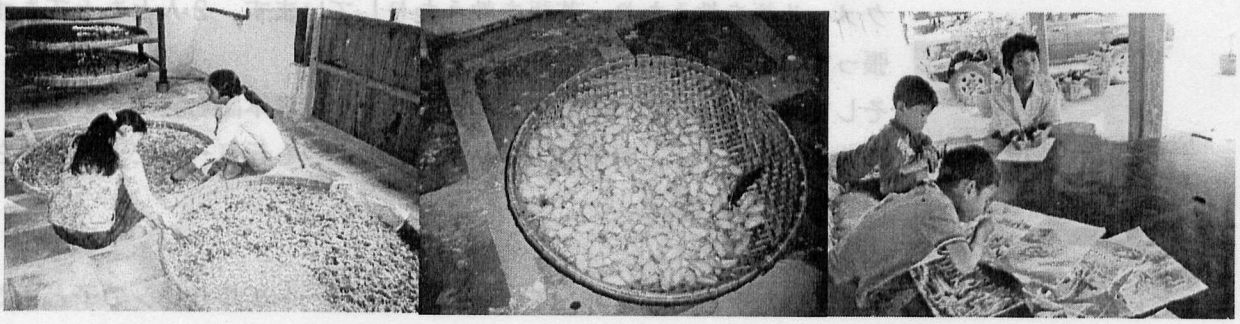


森本喜久男氏がこれまで各地で試みてきた養蚕をシェムリアップで実施したいと思い、2003 年よりシエムリアプ郊外で実施されているプロジェクト「伝統の森」再生計画。ラックカイガラムシの育成と、それに必要な木々の植樹。また、カンボジアで途絶えてしまった藍染めを再開するために必要な藍畑の復活。手紡ぎの木綿を織るための綿花の栽培。そのほか、伝統的に使われてきた自然染色の素材となる植物の栽培とその見本園の造成。

むかし、カンボジアの村に普通にあった、村にあるものだけで布が作れる環境の再生を目指して伝統の森計画は動き始め、「森」が支える伝統の知恵と自然の循環システムを活用した村落開発事業を行っています。

また、小さなアートスクールや識字教育、そして森に住む子どもたちのための寺小屋を運営しています。





アンコールの森の中にあり、森の再生と隣接した新しい村づくりである「伝統の森」再生計画が行われています。綿花の栽培、自然染色の素材となる植物の育成・栽培などを見学しました。私たちは、ここにあるゲストハウスに宿泊させていただきました。